



こうごしま 議会だより No. 163

平成 27 年 2 月 27 日 発行 / 神津島村議会 編集 / 議会だより編集委員会 ☎ 04992 (8) 0011
<http://vill.kouzushima.tokyo.jp/> E-mail kouzu@vill.kouzushima.tokyo.jp



< 平成 27 年議会現場視察 >

目 次

- ◇ 平成 26 年第 4 回定例会（12 月 8、9 日） 2
認定 1 件、条例関係 8 件、補正予算 5 件
- ◇ 一般質問 3
4 名の議員が一般質問
- ◇ 平成 26 年第 3 回臨時会（10 月 7 日） 6
人事案件 1 件、契約 1 件、契約変更 2 件
- ◇ その他 6
議会コラム、議会現場視察、議会日誌、編集後記

平成26年第4回定例村議会

建設課長(桜井隆明君) 村道風早線及び村道3・13号線の認定を求めるもの。

4番(山岸義光君) 3・13号線の予定地は村の土地なのか。

建設課長 現在は私有地である。

2番(鈴木国忠君) 今回認定されれば平成27年度の交付税算入の数値として加えられるのか。

《原案認定》

総務課長(清水 豊君) 人事院勧告に基づき期末手当の支給を改正するもの。

《原案可決》

議案第50号「神津島村長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例」

総務課長 人事院勧告に基づき

期末手当の支給を改正するもの。

《原案可決》

議案第51号「神津島村常勤職員に対する給与条例の一部を改正する条例」

総務課長 人事院勧告に基づき給与の俸給表及び管理職特別手当等の改正をするもの。

4番 再任用の給与は現職の時より上がる場合もあるのか。

《原案可決》

議案第52号「神津島村国民健康保険給付費準備金積立金条例の一部を改正する条例」

福祉課長(土谷清春君) 積立金の金融機関が郵便局に限定されていたものについて、その限定を解除するもの。

5番(石野田富士雄君) 利率が高く、倒産するおそれのない金融機関にという解釈が良いのか。

福祉課長 特に金利が良いというわけではなく、平等にするということ。

《原案可決》

議案第53号「神津島村後期高齢者医療給付基金条例」

福祉課長 給付金に大きな変動があった場合に備え、基金積み立てを可能にするための条例を制定するもの。

3番(清水勝彦君) 基金の管理だが、例えば投資信託等の利用もあるのか。

福祉課長 信用組合、郵便局の定期預金を予定している。

村長(浜川謙夫君) 資金が不足すればすぐに解約をせざるを得ない状況もあり、指定金融機関に預けるのが最も確実な方法だと考えている。

《原案可決》

議案第54号「神津島村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例」

福祉課長 子ども・子育て支援法の制定に伴い、新たに条例を制定するもの。

4番 11時間まで保育時間を定めることができるかと聞いた。子育てをする女性が働く状況を作るには就業時間を超えた中での保育が必要になると思うが。

村長 子育て支援法の定義の中には基本的には8時間の保育がいいだろうという提案もされている。今後、協議するべきである。

《原案可決》

議案第55号「神津島村農業集落排水処理施設管理基金条例」

環境衛生課長(土谷文康君) 突発的な修繕や、新規管路等の設備、整備が発生した場合に備えて、基金の積み立てを可能にするために制定するもの。

《原案可決》

議案第56号「神津島村国民健康保険直営診療所基金条例」

保健医療課長(清水博可君) 施設や機器の更新等、突発的経費により運営が圧迫された場合に備え、基金積み立てを可能にするために条例を制定するもの。

《原案可決》

議案第57号「平成26年度東京都神津島村一般会計補正予算(第3号)」

企画財政課長 歳入歳出それぞれ252万2千円を追加するもの。

7番 最終処分場工事が中止になった要因と今後の見通しは。環境衛生課長 申請物に関しての修正等があり、許可が進んでいかなかった。現在、指示どおり修正を行っており、来年度の工事着工に向けて進めたい。

2番 土砂受入手数料の減額理由を。

建設課長(桜井隆明君) 桑沢へ搬入する土砂が減量となり減額したものの。

7番 海岸漂着物対策委託金の内容を。

環境衛生課長 伊豆諸島の各島で海岸漂着物等の処理に伴う、東京都からの委託金の負担があるもの。

9番(松江孝雄君) 児童福祉費負担金の減額理由は。

福祉課長 保育料の算定の階層変更により、所得に変更が生じたもの。また夏季期間入所停止件数が20件あったためのもの。

9番 妊婦出産支援補助金の追加だが何名分か。また年度内の出産予定者数は。

保健医療課長 10名分の追加。

2番 農地台帳システムの導入予算が計上されているが、現在の農道が台帳化されるのか。

産業観光課長 農地が主なものとなっている。農道は別物。

9番 会計管理費の報酬と賃金が減っているが理由は。会計管理者(前田幸子君) 勤務していた非常勤職員が急遽退職したことに伴うもの。

1番(松本裕一君) 温泉の巡回バス運行業務委託料の減額理由は。産業観光課長 台風により2日間連休したもの。

1番 今後この路線を続けるのであれば、もつとPRをするべきではないか。

産業観光課長 利用率が図られるような形でPR等していきたい。

4番 観光施設整備事業補助金の追加の内容は。

産業観光課長 バイオトイレと、温泉の5号井戸の補助金。

1番 柑が沢線の道路新設工事だが、用地買収の状況。

建設課長 今年度と来年度で予定しており、現在用地買収を進めている。

9番 教育費の奨学金の減額だが、今年度貸し付けを行ったのは何名ぐらいあるのか。

教育課長(藤井小百合) 新規貸し付け者は専門学校で2名。

7番 俳句大会ジュニアの部受賞者表彰式出席補助金の内容説明を。

教育課長 6年生の児童1名が入賞したことに伴い、児童1人、保護者1人の旅費等を補助金として計上したものを。

9番 職員用住宅修繕工事説明を。

総務課長 職員2名が東京電力の住宅を借りて住んでいたが、来年3月までに出なければならず、村が別の住宅を借り改修するもの。また、新規採用者の為の住宅を改修するもの。

7番 定住促進事業対策費(受入家屋修繕費)だが、民間の家の改修か。

企画財政課長 民間の隠居宅を借り上げて改修するもの。《原案可決》

◎議案第61号「平成26年度東京都神津島村介護保険事業特別会計補正予算(第2号)」

福祉課長 歳入歳出それぞれ1千706万2千円を追加するもの。

5番 島にケアマネは何人ほどいるのか。

福祉課長 現在、特養ホームに2名いる。

5番 ケアマネは必要不可欠だと考えるが2名で足りているのか。

福祉課長 足りてはいないが、何とか2名でやってみようとしている。

◎議案第58号「平成26年度東京都神津島村簡易水道特別会計補正予算(第2号)」

環境衛生課長 歳入歳出それぞれ1千円を追加するもの。

1番 滅菌薬剤購入費のところだが、水質検査は毎月やるのか。

環境衛生課長 毎月行っている。《原案可決》

◎議案第59号「平成26年度東京都神津島村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)」

福祉課長 事業勘定は歳入歳出それぞれ1千万円を追加するもの。

保健医療課長 直診勘定は歳入歳出それぞれ196万円を追加するもの。

9番 今回1千万円補正しているが、この補正で年度最終まで大丈夫という判断か。

福祉課長 これで終わりとは断言できない。

3番 臨時医師派遣委託料とあるが、確保が難しいという話も聞く。現状はどうなのか。

保健医療課長 1診については、東京都福祉保健局を介して1年おきに派遣されてきている。2診についても地域医療振興協会から平成27年度以降も確実に派遣しますという返事をもっている。

◎議案第60号「平成26年度東京都神津島村農業集落排水特別会計補正予算(第2号)」

環境衛生課長 歳入歳出それぞれ16万4千円を追加するもの。

◎議案第57号「平成26年度東京都神津島村児童福祉施設条例第6条の完全無料化の実施等に関する規則第6条別表第1保育料の改正を行わなければならないが、いつから無料化を実施するのか村長に伺う。

村長 神津島児童保育施設条例では無料化についての条例改正は行わず、神津島児童保育の実施等に関する規則を、はまゆう保育園入所児童のうち就学前の



一般質問

7番 中村親夫議員

◎村長選挙公約(保育料無料化・住民検診無料化)について

7番 保育料無料化について、3歳児以上の無料化となると、神津島児童福祉施設条例第6条に規定する神津島村児童保育の実施等に関する規則第6条別表第1保育料の改正を行わなければならないが、いつから無料化を実施するのか村長に伺う。

村長 神津島児童保育施設条例では無料化についての条例改正は行わず、神津島児童保育の実施等に関する規則を、はまゆう保育園入所児童のうち就学前の

3年間は保育料の免除をする、このような案を考えていて3月に上程し改正して、来年度平成27年度から実施する。

7番 保育料無料化及び住民検診無料化となると、26年度一般会計の当初予算歳入を参考にすると、それぞれ歳入の児童福祉負担金、保育料1,150万円程度、住民検診等一部負担金350万円程度、合計1,500万円程度の収入がなくなるが、減った分の財源の補充をどのように考えているのか村長に伺う。

村長 厚生労働省が公表した東京都の特殊出生率(15歳から49歳までの1人の女性が一生の間に産むとした子供の出生数)は神津島村3.34ポイント、東京都全体では1.13ポイントであり、島嶼で1位になったことも踏まえ、そして安倍内閣の公約、交付税等の財源措置を信じて、神津島の未来のため独自の保育料の完全無料化を実施したい、とりあえず27年度の財源は財政調整基金からの補完を考えている。住民検診等の財源については、国保の会計療養費2億3,900万円、これを400万円でも500万円でも抑制を図れば財源の確保になると考えている。

◎前浜海岸沿い海の家設置について

7番 「ダンボの耳」に、海水

浴場の売店がなく食事をするところがなくて困ったと投稿されたお客さまがいる。

観光産業は村の目玉産業でもある。お客さまサービスの面からも、リゾート地にふさわしい食堂を設置するべきと考えるが、村長の所見を伺う。

村長 売店の設置については夏の臨時施設としては必要と考えている。観光協会や商工会と協議する必要があるかなと思っ

ている。来年はできないとしても、簡易的にできるのであればいろいろと方策があるでしょう。財源的には村がもつとか、そのような話が出てくれば協議の中で進めていきたいと思う。

7番 葬祭場設置の必要性として、葬儀のしきたりが難しくとまどう。自宅で料理をつくるのが大変。自宅でも拘束される。家も狭かったり共働きをもしている。簡素化したい等があげられる。この件については以前一般質問をしたが、更なる村民の強い声があるので伺う。葬祭場設置について喫緊に検討されたらいかがでしょうか。村長の所見を伺う。

村長 前石野田村長が葬祭場設置については、今年度中にアンケートをとり住民の意向を聞く

場合はお寺、檀家総代等協議してアンケートの中身について検討していきたい。

一般質問

3番 清水勝彦議員

◎ふるさと納税について

3番 ふるさと納税について、村はどう考えているか。

村長 以前はHPや村内への配布物として発信していたが、今はHP等整備して地域の特産品を島外へ広くPRしていく。

3番 ふるさと納税上位は1位が北海道土幌町、2位が佐賀県玄海町、3位が長崎県平戸市で、毎年1万6千件ほどの申込みがあり納税額が7億円を突破した例もある。神津島はイセエビやキンメダイなどを特産品として利用すれば産業PRにもなるので、ふるさと納税を進めてほしい。

◎保育の現状と改善について

3番 保育園の保育時間、乳児保育、アレルギーを持ったお子様への対応についての説明を。

園長 現状の保育時間は8時から16時、延長保育は16時から17時まで設定し、乳児保育は2才児を2〜3名受け入れている。アレルギーを持った子供に対しては、栄養士の指導の下、毎月アレルギー会議が行われ検査数

値結果表に基づいて除去食や個別対応給食を設定し、誤食がないよう十分注意している。

3番 現在の神津島の出生率は3.34人だが、生活費や教育費などの支出を考えると、各家庭が将来の為に蓄えができる様な環境づくりが急務と考える。村長の見解を求めます。

村長 昨今は国も共働き社会の実現に向けて動いており、村も8時間保育を推奨する。各家庭の経済負担を軽減することが将来的な少子化対策になるので、保育園を無料化にし、子育てしやすい環境整備をこの4年間で進めていく。

◎産業振興について

3番 農協についてだが、村が中心になって救済策を考えていく必要がある。東京都を動かし、力強い応援を行政で行っていた

3番 農協組織を27年中に設立できるような形を必ずとる。具体的には村が島しょ農協から今の農協の財産を引き継ぎ、新たな農協に貸し付け、将来贈与する予定がある。

3番 観光についてだが、閑散期対策として村ではどういう対応を

3番 観光についてだが、閑散期対策として村ではどういう対応を

産業観光課長 村としては2020年の東京オリンピックを控え、新規のスポーツ行事等も模

索しながら、従来の行事を27年度も継続させ強化し観光客数増加につなげていく。

3番 三市青少年の船の三市と友好関係を築き来島客の増加につなげることに村長はどう考えるか。

村長 友好親善は産業経済、教育文化の交流を図れるのであれば将来を見据えて考えていく必要がある。27年度はテレビで島を紹介する予算として五百万円を組んでおり、メディア等の媒体を利用しPRをする。

◎人口減少について

3番 今は出生率が高いが、全体のパイが少なくと幾ら出生率が高くても人口は減る一方である。役場も職員全員でこの課題に取り組んでいく事が重要ではないか。

村長 住民、議会、行政が揃って取り組む事が重要である。住民が島の為に何かをやるうとする考えを大事にし、来年は来島者数4万5千人を目指し、観光業を育成していく。又、村職員だけでなく観光業や商工業、それに通じた島民が

取組む神津島にしたいと思

要だと考えている。

一般質問

2番 松本裕一議員

◎神津島の人口減少の対応について

1番 国内各地で人口減少問題が取り上げられている。我々の島嶼においても

新島・式根島・三宅島が危機感を抱き婚活問題に取り組んでいるが政策として構成できないか。地方創生等の交付金をもとに行っていくことができるか。

村長 地域の少子化対策強化交付金として結婚に向けた情報提供や相談体制などが婚活という事で国が補助金を計上して出していた。必要となる出会いの場で懇談するパーティーの経費は使用できない等、制限のある補助金で使いづらいという苦情が各地出ている。これは、まず単費でもそれらを委託等組んで、地域で構成した団体に出す方法もあるかと思

望む対象者を戸籍的か希望者で行うか、やはり率先して自分たちが結婚しようという形なら男女問わず登録していただき一般財源でも使わせていただき、やっていただくというのが私の考えです。

1番 いろいろな方法の中で構成して推進していただきたい。

1番 村政運営の所信で子育て

等について支援策を挙げられま
した。一朝一夕に実現できると
は思いませんが保育料の無料
化・結婚・妊娠への支援強化、
住民健診等の無料化を含めどの
ような考えか。住民が最も関心
を寄せているところでは。

村長 保育料について文化省は
2015年から無料化に向け5
年間で段階的に行うという捉え
方をしておりまして最初から財
政調整基金を取り崩す考えでは
ありませんでしたが、27年度に
ついては財政調整基金からの支
援をお願いすることになる。

◎友好都市等の周年記念事業
を今後考えるべきでは
1番 昭和19年7月1日第二次
世界大戦中、奥多摩町へ集団疎
開してから今年で70年の節目に
なります。長野県佐久市は歴史
的な経緯を辿り平成6年3月24
日に友好都市盟約書が交わされ
20年目の節目になります。今後
その節目を考えながら周年事業
として将来も語り継がれる歴史
の一ページとして残すべきだと
思うが。

村長 奥多摩町への集団疎開に
ついては疎開体験者も少なく
なっていく中で何らかの形で残
すことを考えていく事は必要だ
と思う。佐久市との関係におい
ては、行政がお互いの物産展等
に参加しております。今後は行

政、そして住民レベルの交流が
図られ友好都市として将来更に
発展して継続していくよう考え
ていきたい。

1番 交流事業というのは何ら
かの関係で行われることです。
その当時とか当初の目的や意義
を重んじながらそして相手の事
を気遣いながら末永く続けるこ
とが必要です。今後は村の心遣
いを表現して5年先でも10年先
でも様々な歓迎策を考え心に残
る周年事業の一つとして定着さ
せるべきです。

村長 交流については行政間だ
けの交流とならないように当時
の目的を思い馳せながら住民の
周知も図っていき、双方にとつ
て有益な真の友好を図り、末永
く子供たちに引き継いでいける
ようにすることが行政の役割だ
と考える。

一般質問

9番 松江孝雄議員
◎葬祭場の設置について

9番 葬祭場の必要性につい
て、7番議員から私と同様の質
問がありました。

村長の答弁があり理解した。
私も村民のどの程度の方が必要
としているか、何で必要として
いるのか細かくアンケートをと
り、その結果で設置の検討をし

てほしい。
村長 宗教上の問題もあり、十
分に協議しなければならぬ。
火葬場と一体の斎場の施設なの
か、法事等も含めた施設とする
のか、生きがいセンター、開発
センターが使えないのか、公民
館的なハードな建設は余り望ん
でない。

将来送る方、送られる方の考
えもあり、難しい問題も絡んで
くる。
住民の方、檀家総代も入れ協
議する必要があると思う。これ
に關し是非アンケートをとった
上で検討を考えたい。

◎農業の再生と農協の再建に
ついて
9番 現状のままでは生産額の
減少に歯止めがかからない、生
産額を増やすには生産者を増や
すのもひとつの方法であり農協
の再建にもなる。
雇用の予算で、雇用の従事者
に募集し、農業技術を習得し農
業後継者になつてもらおう、この
ようなことにより農業生産者を
増やすことができる。

村も積極的に努力してほしい。
村長 農業生産者の育成という
点では、村は田の沢地区の農業
研修施設で2名の研修をさせて
いる。研修についての提案は農
協からはされていない。

農協からの要望としては、ビ

ニールハウスの被覆の資材かけ
や圃場の整備がある。雇用対策
は就労対策と考えている。何を
研修させるのか提案していただ
ければ協議して、農業予算とし
ていくのが本来の予算措置だと
思っている。

農業振興策の生産高減少に歯
止めするためには協議していき
たい。
9番 平成24年9月までは花卉
の出荷もあった。生産者を増や
すため花卉類の栽培を提案す
る。農協の再建にもなる。

村長 島の基幹換金作物は、ア
シタバ、レザーファン、パツショ
ンフルーツ、これを固めていく。
キヌサヤ栽培を利活用されてい
ないハウスを利用したらと考え
る。農協とも話したが花卉につ
いては、難しい問題がある。
9番 花卉栽培では村にも指導
者がいると聞いている。この方
に協力してもらったらどうか。

村長 村の農業指導員というこ
とで従事してもらっている。
具現化されてくれば指導員と
して、キヌサヤ、花卉類を回っ
て指導してもらおうよう考えてい
る。具現化され方針ができれば指
導員と話したい。

9番 農協の収入は、販売手数
料と、肥料、資材等の販売収入
がある。農業者が増えれば販売
収入も増えると思う。行政も農

業振興を図る上で農協は必要で
ある。農協再建のために、行政
と農協が二人三脚で努力が必要
と思う。

村長 農協の支援ということ
で、農協の設立は村の指導でつ
くる。設立委員会の中で協議し
ていただきたいと思っている。
農協の設立に關し期待してい
るのは、農業協同組合の組合長、
リーダーとして、農業振興を
引っ張っていかれるかというの
もある。生産者が一体となって組
織を盛り上げていく、行政は後
方支援はいくらでもできる。

9番 最後に一般質問が一方通
行にならないよう、検討、協議
の言葉で答弁のときは、内部で
の協議結果を次の定例会で報告
してほしい。
村長 村だけで決定できないも
の、各団体と協議するものもあ
る、これらについては時間をい
ただきたい。

次の議会には、予算審議の前
に議長にお願いし、検討事項、
協議事項については、報告させ
ていただきたい。議員は言いっ
放しでなく、行政も聞きっ放し
でない議会としたい。



一般質問を行った
4名の議員



<松江孝雄議員>



<松本裕一議員>



<清水勝彦議員>



<中村親夫議員>

第3回臨時会

◎同意第3号「副村長の選任について」

村長 中村勝二君の副村長選任の同意を求めるもの。

《原案同意》

◎議案第46号「村道風早線道路新設工事請負契約」

建設課長 村道風早線の道路新設工事請負契約をするもの。4番 5年目になるが、何年かかけて施工されていくのか。建設課長 平成30年度までに完成させる。

《原案可決》

◎議案第47号「開発総合センター保全改修工事請負契約の変更」

総務課長（中村勝二君） 開発総合センター保全改修工事請負契約の変更をするもの。

《原案可決》

◎議案第48号「5号井新規掘削工事請負契約の変更」

産業観光課長（清水 豊君） 5号井新規掘削工事請負契約の変更するもの。

《原案可決》

議会コラム

3番 清水勝彦

年も明け毎日厳しい西風が吹いています。今回のテーマは漁業問題について述べたいと思います。1月冒頭に放映されたテレビ東京の「ガイアの夜明け」で沖縄のマグロ漁が紹介されました。沖縄もマグロ漁は盛んにおこなわれていますが、問題なのが輸送に関することです。鮮度を保ち生で送るために空路で送っています。コストが高く漁家の経営を圧迫しています。魚は0度以上では腐り、マイナス2度以下では凍ってしまいます。冷凍で出荷すればと考えますが、冷凍では三割程度安くなるそうです。そこで、問題解決に向けて関係機関と研究を重ね塩分1パーセントのマイナス1度の氷を作ることに成功しました。マグロで試したところ、5日間くらいは味も鮮度も変わらないとの結果が出て今ではフェリーで大阪まで運び陸路で東京まで出荷できるようになったとの事です。神津でも、この氷を使えば最近とれている方も東京出荷が可能になります。5日間、味・鮮度が変わらなければ少しですが出荷調整も出来ると思います。

2点目は干物づくりの問題が取り上げられました。最近の日本人は魚離れの傾向があり作った干物が売れなくなっており、加工業者も大変だそうです。その理由のひとつとして、骨を取ることや、焼くのが面倒という都会の消費者の意見もあり、この問題に愛媛県の加工業者が取り組み、骨ごと食べられる干物づくりに成功したとの内容でした。今では老人施設のお年寄りから学校給食まで幅広く人が広がっているそうです。骨ごと食べることでカルシウム摂取につながり、又、焼きあがった状態での販売になりますので、都会でも受け入れられる良いことづくしの結果が得られているそうです。本村でも様々な魚種に応用できると考えました。氷の問題も骨ごと食べられる干物も水揚げされた魚をいかに高く消費者に買ってもらえるか、工夫することで高く売れるかの視点からこの漁業を考えると、場合、欠かせないと私は思います。紙面の都合で細かいことは紹介できませんが興味のある方はネットで検索してみてください。

議会コラム

4番 山岸義光

浜川村長が、年頭挨拶で住民健診の無料化に取り組みと述べておられました。無料化は村民にとってはとても良いことだと思えます。血圧の検査、体重、心電図。血液検査では、内臓の事が調べられます。病気の早期発見、早期治療はご自身やご家族に日常の負担や出費を減らします。しかし、住民健診を受診したからと言って健康になれるわけではないのです。

厚生労働省が昨年、介護を受けたら寝たきりになったりせずに日常生活を送れる期間を示す「健康寿命」が、平成25年は男性71.19歳（同年の平均寿命は80.21歳）、女性74.21歳（86.61歳）と公表したそうです。健康寿命が延びると、医療や介護の費用の削減にもつながります。

ですから、村政にとっても将来的に節税に結びつくことになりそうです。自立した生活ができて、病気になるに遅く、そして老化をどの様に遅らせるかが大事だと思えます。ただ、老化は病気ではありません。誰にでも必ず訪れます。体や頭の中とか心の中で老化は始まります。では病気になるに遅く、「健康寿命」を伸ばすにはどの

ようにすればよいのかと言
うと、テクテク歩きましょ
う。人と話しながら、20分位
2日置き程度でいいそうで
す。肥満、動脈硬化、腰痛、
骨粗鬆症、老化の防止にも
なるそうです。次に、カミ
カミしましょう。三食キチッ
とゆっくり、一口20回噛み、
腹八分目の食事。そして、
ニコニコしましょう。笑う
と免疫力がアップし、自律
神経が安定し、ストレスが
解消し、集中力がアップし、
がんの予防効果と糖尿病に
も効果があるそうです。最
後にドキドキ・ワクワクし
ましょう。何処かに行きた
い、何かをしたい、何かに
夢中になる。そして、体験
して、感動して、人と交わ
ることで脳の前頭葉が良く
働くようになるそうです。
この前頭葉は、感動、推理、
創造やユーモア、人の苦し
みや心の痛みを理解するこ
とができる部分だそうです。
その前頭葉のバランスが崩
れると認知症が認められる
そうです。
病気を予防するためにも、
老化を遅らせるためにも、
生活習慣に、テクテク・カ
ミカミ・ニコニコ・ドキド
キを取り入れていきたいも
のです。みんなで楽しく
「健康寿命」を延ばしましょ
う。自分の健康は自分で守
りましょう。

議会現場視察

平成27年1月9日、毎年恒例の議会
現場視察を行い、本年度の村内主要公
共工事の現場の視察を行った。

神津島村議会現場視察箇所一覽

- 神津島橋梁改修工事(天神橋)(村)
- 村道風早線道路新設工事(村)
- 道路改修工事
(大ノ神津島・鉄砲場1期の4)(支庁)
- 村道120号線道路改修工事(村)
- 神津島村一般廃棄物安定型最終
処分場(村)
- 村道14号線道路改修工事(村)
- 神津島港船揚場(改良)建設及び
その他工事、他(港湾)
- 高处沢林地荒廃復旧工事(支庁)
- 農道柑が沢線道路新設工事(村)
- 神津島空港緑地施設整備工事、他
(港湾)
- 歩道設置工事(26大1)(支庁)
- 三浦漁港防砂潜堤建設工事、他
(港湾)



<沖の沢(新都道)工事現場>



<高处沢林地荒廃復旧工事現場>



<高处沢林地荒廃復旧工事現場2>



<神津島港船揚場(改良)建設現場>



<平成 27 年出初式>

議会 日誌

平成 26 年	9 月	10 月	11 月	12 月
2 日	平成 26 年第 3 回定例会 (3 日閉会)	7 日	1 日	4 日
9 日	都庁港湾局訪問	10 日	30 日	3 日
10 日	北京訪問団歓迎会	10 日	27 日	2 日
11 日	都庁建設局訪問	11 日	23 日	1 日
12 日	都庁建設局訪問、北京訪問団との懇親会	18 日	20 日	23 日
13 日	神津島村敬老会 (副議長)	19 日	19 日	13 日
15 日	やすらぎの里敬老会	18 日	18 日	12 日
25 日	神新汽船新造船進水式 (広島県)	11 日	11 日	11 日
27 日	中学校運動会	10 日	10 日	10 日
27 日	平成 26 年第 3 回臨時議会	10 日	10 日	10 日
	ジュリア祭東京会議	10 日	10 日	10 日
	小学校運動会	10 日	10 日	10 日
	村民運動会	10 日	10 日	10 日
	調布飛行場まつり	10 日	10 日	10 日
	奥多摩町視察研修 (21 日まで)	10 日	10 日	10 日
	全国道路整備大会	10 日	10 日	10 日
	平成 26 年第 3 回定例会会議録署名	10 日	10 日	10 日
	議会だより 162 号編集委員会	10 日	10 日	10 日
	全国漁港漁場大会	10 日	10 日	10 日
	佐久市農業祭 (副議長)	10 日	10 日	10 日
	八丈町町制 60 周年記念式典	10 日	10 日	10 日
	町村議会議長会第 2 回臨時総会	10 日	10 日	10 日
	第 33 回離島振興市町村議会議長全国大会	10 日	10 日	10 日
	第 58 回町村議会議長全国大会	10 日	10 日	10 日
	東京都議長会優良町村議会行政視察 (14 日まで)	10 日	10 日	10 日
	神津島商工業まつり物産展	10 日	10 日	10 日
	平成 26 年第 3 回臨時議会会議録署名	10 日	10 日	10 日
	都庁港湾局訪問	10 日	10 日	10 日
	都庁港湾局・産業労働局訪問	10 日	10 日	10 日
	平成 26 年第 4 回定例会議会運営委員会	10 日	10 日	10 日

月

日の経つのは早いもので、3 月も間近となり現議員の任期も残り僅かとなった。

去る 12 月 8 日には、浜川村政で初めての、26 年第 4 回定例会村議会が開会され、4 名の議員から一般質問があり、又、認定が 1 件、条例に関する議案が 8 件、補正予算が 5 件審議可決された。

12 月 14 日に執行された衆議院選挙では、自民党、公明党が勝利し、第三次安倍内閣がスタートし、アベノミクスが継続する。大企業には効果が出ているようだが、中小企業にはまだ効果が出ていないようだ。

そして円安が進み輸入食品の値上がり、家計は厳しい状況にあると思う。更に今後値上げの食品もあるという、一日も早く食料品など生活必需品の軽減税率を導入してほしい。

又、地方活性化のため、地方創生本部を設置した。地方から人口が流出している現状があり、また時弊している。地方を主役にするには、地域の個性を生かし、農業、漁業、観光等の振興に、自由に使える交付金の拡大が必要で、小さな町村にも恩恵となるような政策をたててほしいと思う。

そして 4 月 26 日には統一地方選挙で、本村においても村議会議員の選挙がある。定数削減も条例が可決しており、今回の選挙から 8 名の議員となる。お互い切磋琢磨して、村の発展のため更なる努力が必要になる。

編集 後記

議会だより編集委員

- 委員長 松江 孝雄
- 副委員長 松本 裕一
- 委員 清水 勝彦
- 委員 石田 高道